

工 事 概 要

工事延長				m	120
舗装工	m2	730	橋面防水工	m2	30
区画線工	式	1			

施 工 理 由

本工事は、「文化首都京都にふさわしい良好な道路空間の創出」事業で位置づけられた一般府道上賀茂山端線において、景観舗装による整備を行うものである。					
--	--	--	--	--	--

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回		円	
内	工 事 価 格	前回	円	円	円
		今回		円	
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回		円	
支	給 品 費	前回	円	円	円
		今回		円	

京都市 建設局

積算参考資料（間接費補正一覧）

単 価 使 用 年 月	2026年6月	
歩 掛 適 用 年 月	2026年6月	
基 準 適 用 年 月	2026年6月	
単 価 地 区	2601: I 地区	
調 整 区 分	単独工事	
共通仮設費（率計上）		
主 た る 工 種	06:舗装工事	
施 工 地 域 等 補 正	大都市（2）	1.5
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
現場管理費		
施 工 地 域 等 補 正	大都市（2）	1.2
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

見積参考資料（細別単価）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

工種	種別	細別	規格・条件	単位	単価(円)	備考
舗装工	オーバーレイ工	表層(車道・路肩部) (一般部) (夜間)	材料種類:各種(1.90以上 2.00t/m3未満),材料規格: 各種,舗装厚:50mm,平均幅 員:3.0m超	m2	7,031	タックコート有り
舗装工	オーバーレイ工	表層(車道・路肩部) (橋梁部) (夜間)	材料種類:各種(1.90以上 2.00t/m3未満),材料規格: 各種,舗装厚:50mm,平均幅 員:3.0m超	m2	6,954	
舗装工	オーバーレイ工	セメントミルク浸透 (夜間)	t=50mm,超速硬型 (1585kg/100m2),セメント色(黒顔 料4%)	m2	8,013	
舗装工	オーバーレイ工	ショットプラスチック (昼間)	投射密度:150kg/m2	m2	2,551	
舗装工	オーバーレイ工	デザインカッター (昼間)	目地600mm×900mm, W=6mm, H=6mm	m2	6,502	

設計内訳書（本01）

工事名	舗装道補修工事（上賀茂山端線）（その1）					事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
道路修繕		式	1					
舗装工		式	1					
路面切削工 （夜間）		式	1					
路面切削	施工区分・平均切削深さ：全面切削6cm以下（4000m2以下），段差すりつけ撤去作業：無し	m2	730				単 1号	
オーバーレイ工		式	1					
舗装版切断 （昼間）	舗装版種別：アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚：15cm以下	m	14				単 2号	
表層（車道・路肩部） （一般部） （夜間）	材料種類：各種（1.90以上2.00t/m3未満），材料規格：各種，舗装厚：50mm，平均幅員：3.0m超	m2	700				単 3号 タックコート有り	
表層（車道・路肩部） （橋梁部） （夜間）	材料種類：各種（1.90以上2.00t/m3未満），材料規格：各種，舗装厚：50mm，平均幅員：3.0m超	m2	30				単 4号	
セメントミルク浸透 （夜間）	t=50mm，超速硬型（1585kg/100m2），セメント色（黒顔料4%）	m2	730				単 5号	
ショットフラスト （昼間）	投射密度：150kg/m2	m2	730				単 6号	
デザインカッター （昼間）	目地600mm×900mm，W=6mm，H=6mm	m2	670				単 7号	
殻運搬（路面切削） （夜間）	殻種別：アスファルト殻	m3	37				単 8号	
殻処分 （夜間）	殻種別：アスファルト殻	m3	37				単 9号	

設計内訳書（本01）

工事名	舗装道補修工事（上賀茂山端線）（その1）					事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋面防水工 （夜間）			式	1				
橋面防水		防水工種類:塗膜防水	m2	30				単 10号(概) アスファルト系, 成形目 地材, 導水管含む
区画線工			式	1				
区画線工 （昼間）			式	1				
溶融式区画線		施工方法区分:溶融式手動, 規格・仕様区分:実線 1 5cm, 塗布厚:厚1.5mm, 排水性舗装:無し	m	107				単 11号
溶融式区画線 （横断歩道予告表示）		施工方法区分:溶融式手動, 規格・仕様区分:矢印・ 記号・文字 15cm換算, 塗布厚:厚1.5mm, 排水性舗装 :無し	箇所	2				単 12号 15cm換算:16.51m
仮設工			式	1				
交通管理工			式	1				
交通誘導警備員 （夜間）		B	人日	14				単 13号
交通誘導警備員 （昼間）		B	人日	30				単 14号
概略発注工			式	1				
概略発注工			式	1				
概略発注工			式	1				

設計内訳書（本01）

工事名	舗装道補修工事（上賀茂山端線）（その1）				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路修繕	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
概略発注工 概略発注工を除く直接工事費の 0.5%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
運搬費		式	1				
建設機械運搬費		台	2				単 15号
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				

設計内訳書 (本01)

[illegible]

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 1号	路面切削	施工区分・平均切削深さ:全面切削6cm以下(4000m2以下),段差すりつけ撤去作業:無し	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
路面切削		全面切削6cm以下(4000m2以下),無し,全ての費用	m2	1			04-03-01	
CB430010								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	舗装版切断 (昼間)	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版,15cm以下,全ての費用	m	1			04-03-03	
CB430510								
合計								
単価							円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 3号	表層(車道・路肩部) (一般部) (夜間)	材料種類:各種(1.90以上2.00t/m3未満),材料規格: :各種,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超,50mm,各種(1.90以上2.00t/m3未満),タックコ ト PK-4,全ての費用	m2	1			04-01-02	
CB410260								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 4号	表層(車道・路肩部) (橋梁部) (夜間)	材料種類:各種(1.90以上2.00t/m3未満),材料規格: :各種,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超,50mm,各種(1.90以上2.00t/m3未満),無し, 全ての費用	m2	1			04-01-02	
CB410260								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 5号	セメントミルク浸透 (夜間)	t=50mm, 超速硬型(1585kg/100m2), セメント色(黒顔料4%)	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人	0.33			[] [1] []	
R0125								
特殊作業員			人	2			[] [1] []	
R0101								
普通作業員			人	4			[] [1] []	
R0102								
材料費 浸透用セメントミルク, 超速硬型, セメント色(黒顔料4%) Y000800007001			kg	1,585				
散水車運転			日	0.33			単 16号	[] [1] []
クワッドミキサ運転			日	0.33			単 17号	[] [1] []
トラック運転(クレーン装置式)			日	0.33			単 18号	[] [1] []
振動ローラ運転			日	0.33			単 19号	[] [1] []
諸雑費(率+まるめ) ZS8000004		15%	式	1			[1] [] []	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 6号	ショットﾌﾟﾗｽﾄ (昼間)	投射密度:150kg/m2	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ショットﾌﾟﾗｽﾄー運転費			時間	2. 33			単 20号	[] [1]
集塵機運転費			時間	2. 33			単 21号	[] [1]
発電機運転費			時間	2. 33			単 22号	[] [1]
トラック運転(ｸﾚﾝ装置式)			時間	2. 33			単 23号	[] [1]
トラック運転4t積			時間	2. 33			単 24号	[] [1]
トラック運転2t積			時間	2. 33			単 25号	[] [1]
空気圧縮機運転費			時間	2. 33			単 26号	[] [1]
材料費 研掃材損耗費			kg	83. 88				
Y000800007002								
土木一般世話役			人	0. 35				[] [1]
R0125								
特殊作業員			人	0. 35				[] [1]
R0101								
普通作業員			人	0. 35				[] [1]
R0102								
諸雑費(率+まるめ)			式	1				[1] []
ZS8000004		5%						

單僱使用年月	2026.06
步掛適用年月	2026.06
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

– 9 –

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 7号	テ`サ`インカッター (昼間)	目 地600mm×900mm, W=6mm, H=6mm	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[] [1]
	R0125		人	2. 5				
	特殊作業員							[] [1]
	R0101		人	2. 5				
	普通作業員							[] [1]
	R0102		人	2. 5				
	フラットソー運転						単 27号	[] [1]
			日	2. 5				
	発電機運転						単 28号	[] [1]
			日	2. 5				
	集塵機運転						単 29号	[] [1]
			日	2. 5				
	専用トラック運転						単 30号	[] [1]
			日	2. 5				
	材料費 ブレード`損料							
	Y000800006001		枚	1. 34				
	材料費 消耗品等							
	Y000800015016		セット	2. 5				
	諸雑費(率+まるめ)							[1] []
	ZS8000004	5%	式	1				
	合計							
	単価						円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 8号	殻運搬(路面切削) (夜間)	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬(路面切削)		有り, 19.0km以下, 全ての費用					04-03-01	
CB430020			m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 9号	殻処分 (夜間)	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)							単 31号 01-14-01	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 10号	橋面防水	防水工種類:塗膜防水	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗膜系防水		補修, 有, 36.5m/100m2, 有, 36.5m/100m2, 有	m 2	1			単 32号 06-02-12	
WB812920								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動, 規格・仕様区分:実線 15cm, 塗布厚:厚1.5mm, 排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し, 溶融式手動, 無し, 実線 15cm, 無し, 1.5mm, 無し, 無し, 含有量15～18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用	m	1			単 33号 06-01-01	
WB821210								
合計								
単価							円／m	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	溶融式区画線 (横断歩道予告表示)	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・ 記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装 :無し	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,溶融式手動,無し,矢印・記号・文字 15cm換算 ,無し,1.5mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト 舗装,全ての費用	m	16.51			単 34号 06-01-01	
合計								
単価							円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 13号	交通誘導警備員 (夜間)	B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日	1			単 35号 02-05-21	
合計								
単価							円／人日	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 14号	交通誘導警備員 (昼間)	B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B							単 36号 02-05-21	
WB010212			人日	1				
合計								
単価							円／人日	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 15号	建設機械運搬費		単位	台	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
貨物自動車による運搬(1車1回)		路面切削機(ホィ-#廃材積込付)2. 0m, 6. 1km, 無, 無					単 37号 01-02-02	
WB010010			台	1				
合計								
単価							円／台	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 16号	散水車運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	20				
散水車[トラック架装型] 3800L		機械条件:供用 持込						
	M001108007		供用日	1				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 17号	グラウトミキ運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油								
Z006702002			L	10				
グラウトミキ[上下2槽式] 攪拌容量200L×2槽		機械条件:供用 持込						
M000572004			供用日	1. 81				
諸雑費(まるめ)								
ZS3000004			式	1				
合計								
単価							円／日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 18号	トラック運転(クレーン装置式)		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	25				
トラック[クレーン装置付] ベーストラック4〜4.5t積 吊能力2.0t		機械条件:供用 持込						
	M000302012		供用日	1				
諸雑費(まるめ)								
	ZS30000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 19号	振動ロー運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	12				
材料費 振動ロー								
	Y000800015017		供用日	1				
諸雑費(まるめ)								
	ZS30000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 20号	ショットﾌﾟﾗｽﾀｰ運転費		単位	時間	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 ショットﾌﾟﾗｽﾀｰ	Y000800015001		時間	1				
材料費 耐摩耗部品	Y000800015002		時間	1				
材料費 その他修理部品費	Y000800015003		時間	1				
運転手(特殊)	R0114		人	0. 3				
普通作業員	R0102		人	0. 3				
合計								
単価							円／時間	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 21号	集塵機運転費		単位	時間	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 集塵機損料		Y000800015004	時間	1				
材料費 バグフィルター損耗費		Y000800015005	時間	1				
材料費 ダクトホース損耗費		Y000800015006	時間	1				
材料費 その他修理部品費		Y000800015007	時間	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／時間	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 22号	発電機運転費		単位	時間	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 発電機損料		Y000800015008	時間	1				
材料費 損耗部品費		Y000800015009	時間	1				
軽油		Z006702002	L	13				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／時間	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 23号	トラック運転(クレーン装置式)		単位	時間	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
	R0114		人	0. 17				
軽油								
	Z006702002		L	5. 7				
トラック[クレーン装置付] ベーストラック4〜4. 5t積 吊能力2. 9t								
	M000302013		時間	1				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／時間	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 24号	トラック運転4t積		単位	時間	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	0. 21				
軽油								
	Z006702002		L	5. 9				
トラック[普通型] 4～4. 5t積								
	M000302004		時間	1				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／時間	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 25号	トラック運転2t積		単位	時間	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	0. 21				
軽油								
	Z006702002		L	4. 2				
トラック[普通型] 2t積								
	M000302002		時間	1				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／時間	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 26号	空気圧縮機運転費		単位	時間	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 空気圧縮機損料			時間	1				
Y000800015010								
材料費 損耗部品費			時間	1				
Y000800015011								
軽油			L	2. 8				
Z006702002								
諸雑費(まるめ)			式	1				
ZS3000004								
合計								
単価							円／時間	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 27号	フラットナー運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 フラットナー損料		Y000800015012	日	1				
ガソリン レギュラー		Z006704001	L	28. 5				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 28号	発電機運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 発電機損料		Y000800015013	日	1				
ガソリン レギュラー		Z006704001	L	9. 5				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 29号	集塵機運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 集塵機損料		Y000800015014	日	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 30号	専用トラック運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 専用トラック損料		Y000800015015	日	1				
軽油		Z006702002	L	20				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 31号 WB020051	処分費 (m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As殻処分_京都合砕_夜間 Y007600000001			m3	100				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 32号 WB812920	塗膜系防水	補修, 有, 36.5m/100m2, 有, 36.5m/100m2, 有	単位	m 2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋面防水工 塗膜系防水(アスファルト系)補修 単価補正1.150(FP3)		Q001572002	m2	100				
床版排水材 ドレーンΦ15		Y001474101003	m	38.325				
目地材 橋面防水用		Y001141101001	m	38.325				
諸雑費(まるめ)		ZS30000004	式	1				
合計								
単価							円／m 2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 33号 WB821210	区画線設置	無し, 溶融式手動, 無し, 実線 15cm, 無し, 1. 5mm, 無し, 無し, 含有量15～18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用	単位	m	単位数量	1, 000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無 単価補正1. 000 (FP3)		Q001036001	m	1, 000			[] [2]	
トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビース 15～18 白		Z004350001	kg	570			[] [1]	
ガラスビース 0. 106～0. 850mm		Z004352001	kg	25			[] [1]	
接着用プライマー 区画線用		Z004354001	kg	25			[] [1]	
軽油		Z006702002	L	40			[] [1]	
諸雑費(率+まるめ)		ZS8000004	式	1			[1] []	
合計								
単価							円/m	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 34号 WB821210	区画線設置	無し, 溶融式手動, 無し, 矢印・記号・文字 15cm換算 無し, 1. 5mm, 無し, 無し, 含有量15～18%, 白, アスファルト 舗装, 全ての費用	単位	m	単位数量	1, 000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無 単価補正1. 000 (FP3)		Q001036073	m	1, 200			[] [2]	
トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビース 15～18 白		Z004350001	kg	684			[] [1]	
ガラスビース 0. 106～0. 850mm		Z004352001	kg	30			[] [1]	
接着用プライマー 区画線用		Z004354001	kg	30			[] [1]	
軽油		Z006702002	L	120			[] [1]	
諸雑費(率+まるめ)		ZS8000004	式	1			[1] []	
合計								
単価							円/m	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.500-00001 0.0 0

単 35号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B		R0804	人	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 36号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B		R0804	人	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 06
歩掛適用年月	2026. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 37号 WB010010	貨物自動車による運搬(1車1回)	路面切削機(ホイ-ル廃材積込付)2. 0m, 6. 1km, 無, 無	単位	台	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
貨物自動車基本運賃 20t車以上30t車まで 20kmまで		Z006811001	台	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／台	

特記仕様書（個別工事編）

工事名 舗装道補修工事（上賀茂山端線）（その１）

工事場所 京都市北区上賀茂本山他地内

1 一般事項

第1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和7年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和8年4月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）」の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

第2条（中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更）

- 1 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下「調達検討資材」）の調達に必要な経費（以下「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。
- 2 調達検討資材は下表を想定している。これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

表－調達検討資材

資材名	規格	設計数量	単価適用年月	単価適用地区
路面標示用塗料	JIS K 5665 3 種 1 号(ガラスビーズの含有量 15～18%)	7 2 kg	R 8. 6 月	I 地区

- 3 受注者は、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員と協議するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、以下を想定している。

- ① 調達検討資材の代替資材を調達した場合
- ② 調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
- ③ 調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）

- 4 受注者は、別途調達経費に係る証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

第3条（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」）であり、「京都市建設局週休2日工事実施要領」（<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>）に基づいて実施する。ただし、「通期の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」を達成した場合は、工事成績評価の審査項目「創意工夫」において、加点対象となる。
- 4 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。
- 5 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

第4条（受注者希望方式による「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」（<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評価の審査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第5条（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、工事の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第6条（前払金）

前払金は、請負代金の40%以内とし、中間前払金は、同様に20%以内とする。なお、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照 (<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>)

2 現場条件に関する事項

第1条（施工時間）

施工時間は、下記工種以外は昼間施工とする。ただし、関係機関と協議の結果、施工時間に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

工種	種別	標準作業時間	備考
舗装工	路面切削工 オーバーレイ工 橋面防水工	21時00分～6時00分	ショットブラスト、デザインカッター除く

第2条（工程）

本工事において、上賀茂神社の観光客、初詣参拝客が11月、1月に集中することを踏まえ、12月中に現場作業を完了するよう努めること。

第3条（工事規制）

本工事施工箇所は、京都市道路工事調整会規約施行細則第17条に掲げる工事規制のうち、次の各号の規制種別に係る規制路線及び地域内であることから、同条に基づく規制期間及び規制内容を遵守しなければならない。なお、規制範囲は歩車道を含めた全幅とする。

京都市道路工事調整会規約施行細則

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000003649.html>

年末年始規制

規制種別	規制路線 及び地域	規制期間	規制内容
年末年始 規制	その他道路	12月27日～1月5日	規制期間中は、新たな工事に着手し、又は工事区域を拡大してはならない。ただし、道路の仮復旧等、一般交通に開放するための工事はこの限りでない。

第4条（景観協議等）

本工事区間の石畳風舗装について、現在景観政策課、風致保全課及び文化財保護課と協議中であるが、令和8年10月の上旬に協議が成立する見込みである。

なお、協議の結果変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第5条（交通誘導警備員）

- 1 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協

議するものとし、設計変更の対象とする。

配 置 場 所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編 成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員 の有無
工事箇所	3～4 名（交代要員1名含む。）	交通誘導警備員 B 2～3 名	夜 間	有
	3名（交代要員1名含む。）	交通誘導警備員 B 2 名	昼 間	

- 2 上表において交替要員を有としている配置場所については、作業中は交通誘導警備員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

3 監督職員の確認に関する事項

第1条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料	
材 料・製 品	備 考
アスファルト合材	「品質管理基準及び規格値」 (区分・項目・方法・頻度)

監督職員の指定に基づき実施する材料・資材及び製品 (「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料以外)

工種・種別等	細 別	材料・資材・製品
舗装工・オーバーレイ工	セメントミルク浸透	超速硬型、セメント色（黒顔料 4%混入）
舗装工・橋面防水工	橋面防水	防水材、プライマー、導水管、目地材

第2条（受注者の臨場）

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

第3条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（3-1-1-4）の「表 3-1-1 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む） (「共通仕様書（3-1-1-4）の「表 3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外）

工種-種別等	細 別	確 認 項 目
舗装工・路面切削工	路面切削	切削後の状況（切削深さ、切削面のひび割れ、クラックシート補強の要否、等）

舗装工・オーバーレイ工	セメントミルク浸透	浸透状況確認
	ショットブラスト	ブラスト状況確認
舗装工・橋面防水工	橋面防水	防水層設置状況

第4条（立会確認）

受注者は、次表に示す内容について、監督職員と現地で立会を行い、確認するものとし、監督職員が確認するまでは次の作業に進んではならない。

項 目	確 認 方 法・目 的 等
企業者の地下埋設物・橋梁添架物確認	工事によって企業者等の地下埋設物等に悪影響が出ないようにするため、受注者が企業者及び監督職員と立会し、地下埋設物の位置、深さ及び幅等について確認をする。（ただし、立会確認書は不要とする。）
保安施設設置状況	工事による事故防止のため、監督職員と立会確認をする（ただし、立会確認書は不要とする。）
ダンプトラックの過積載状況確認	ダンプトラックによる過積載防止のため、監督職員と立会確認をする。（ただし、立会確認書は不要とする。）

第5条（橋面防水）

防水材の規格は、次表の道路橋床版防水便覧（平成19年3月 社団法人日本道路協会）に規定される基本照査試験を満足するものでなければならない。これを確認するため、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料を監督職員に提出しなければならない。

床版防水の基本照査試験

工種	要求性能	試験項目	合否判定の目安	備考
橋面防水	防水性 遮塩性	防水性能試験Ⅰ （またはⅡ）	減水量 0.2 ml以下(試験Ⅰ)	
	耐変形性	ひび割れ追従性試験 Ⅰ（またはⅡ）	床版防水材の折損が生じない こと(試験Ⅰ)	
	接着性 耐熱性 耐荷性	引張接着試験	強度 0.6N/mm ² 以上(23℃) 強度 1.2N/mm ² 以上(-10℃)	
	接着性 耐変形性 耐熱性 耐荷性	せん断試験	強度 0.15N/mm ² 以上(23℃) 変位量 1.0mm 以上 (23℃) 強度 0.8N/mm ² 以上(-10℃) 変位量 0.5mm 以上 (-10℃)	
	接着性	水浸引張接着試験	水浸前の 50%以上	
	耐薬品性	耐薬品性試験	異常のないこと	

第6条（品質管理試験）

本工事の施工に伴う品質管理試験の項目や規格値等については、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）に記載しているが、次表の工種、品目・規格等、試験項目における具体的な試験時期・頻度は、同表に記載のとおりとする。

工種	品目・規格等	試験項目	試験時期・頻度	備 考
舗装工	アスファルト混合物	外観検査（目視）	随時	排水性舗装、透水性舗装、プラント再生舗装含む
〃	〃	骨材のふるい分け試験	施工前	試験成績表による確認
〃	〃	骨材の密度及び吸水率試験	〃	〃
〃	〃	骨材中の粘土塊量の試験	〃	〃
〃	〃	粗骨材の形状試験	〃	〃
〃	〃	フィラーの粒度試験	〃	〃
〃	〃	フィラーの水分試験	〃	〃
〃	セメントミルク	セメントの物理試験	工事開始前、工事中 1 回/月以上	〃

4 建設副産物に関する事項

第1条（建設副産物の適正処理）

1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正平成23年4月1日）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるA、B2、D、E票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備 考
アスファルト殻 (切削)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路松林町18番地の1、19番地	設計運搬距離 L = 17.2 km

2 舗装切断時等において発生する濁水及び粉塵

受注者は、舗装切断時等において発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

また、受注者は、濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、濁水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

当初設計には濁水及び粉塵の収集運搬及び処分に掛かる費用は計上していない。濁水処理費等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

3 ショットブラスト時において発生する廃材

当初設計にはショットブラスト時に発生する廃材の収集運搬及び処分にかかる費用は計上していない。処理費用等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

第2条（特定建設資材の分別解体等及び再資源化等）

- (1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和7年6月1日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別

の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他()	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

(2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を別に定める18条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18条に基づく報告を省略することができるものとする。

5 その他事項

第1条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の45日前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の14日前までに提出すること。

第2条（受注者希望型におけるICT活用工事の試行）

- 1 本工事は、「京都市建設局ICT活用工事試行方針（案）」（令和8年8月）（以下「試行方針」という。）及び「京都市建設局ICT活用工事試行要領（案）」（令和8年8月）（以下「試行要領」という。）の内容に従いICT活用工事を試行できる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「高度情報化」参照
(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000290097.html>)

- 2 試行の対象工種は「試行方針」に定めた工種とし、「試行要領」の対象工種の詳細に基づき、ICT活用工事を試行できる。
- 3 受注者が試行を希望する場合、契約後施工計画書の提出までに、受注者はICT活用の効果、具体的な工事内容・数量及び対象範囲について、発注者へ提案、協議を行うこと。発注者と協議が整った施工プロセス①～⑤の全て又は何れかの段階で、ICT施工技術を活用できる。
なお、試行の対象工種が土工、舗装工、舗装工（修繕工）の場合は、施工プロセス①、②、③又は②、④、⑤を含む3つ以上の施工プロセスの活用を基本とし、その他のプロセスを含め協議により選定できる。
 - ① 3次元起工測量
 - ② 3次元設計データ作成
 - ③ ICT建設機械による施工
 - ④ 3次元出来形管理等の施工管理
 - ⑤ 3次元データの納品
- 4 ICT活用工事の費用については、当初は計上せず、発注者との協議が整った各施工プロセスの段階を設計変更に必要な経費を計上する。受注者は設計変更に必要な見積書を提出すること。
- 5 「試行要領」により有効に試行したことが認められた場合は、工事成績の「創意工夫」及び「工事特性」の項目で加点評価する。ただし、①3次元起工測量の1プロセスのみの活用は除く。

第3条（情報共有システムの利用）

- 1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。
システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和8年8月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。
- 2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。
- 3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。
- 4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要

領」(以下「要領」という。)に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。

なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照

(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>)

第4条(受注者希望型における遠隔臨場の実施)

本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。

1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領(案)」(令和5年3月)及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領(案)」(令和5年3月)の内容に従い実施するものとする。

2 実施内容

(1) 「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけでなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

(2) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(3) 費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領(案)」(令和5年3月)の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

(4) 成績評定

遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。

第5条(その他の特記事項)

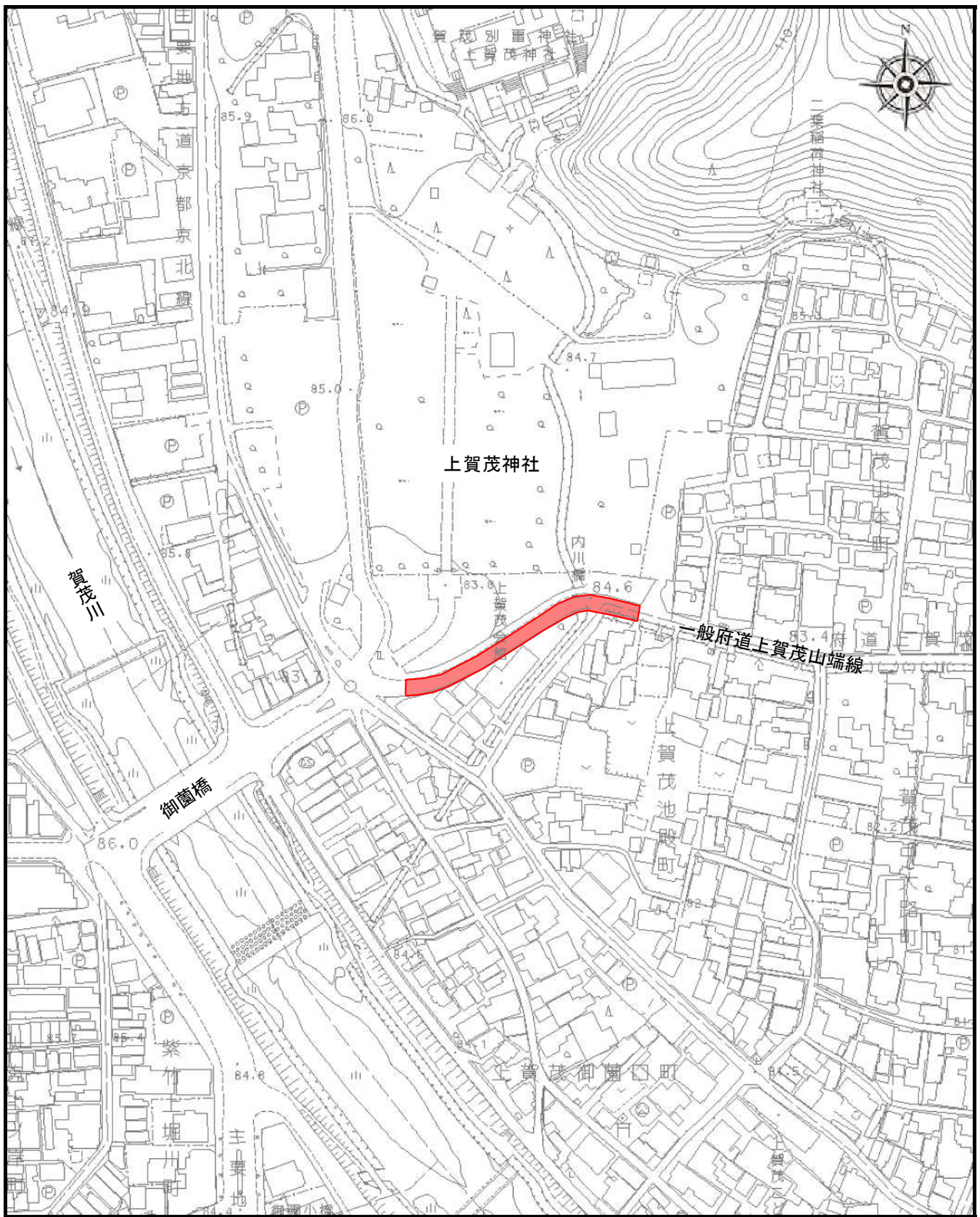
1 受注者は、着工前または工事中に工事ビラ「工事のお知らせ」を監督職員の指示する範囲において配布すること。

2 工事期間中においては、休工中も含めて連絡が取れる体制を構築すること。

- 3 週間工程表（作業工程、立会、確認等の予定を記載）を作成し、前週末までに監督職員に提出すること。
- 4 土日祝日の作業については、原則行わないものとする。ただし、やむをえず作業を行う場合は、あらかじめ監督職員の承諾を得なければならない。
- 5 年末年始等の長期休暇の際は、連絡体制及び現場の点検体制を構築し、事前に監督職員に提出すること。
- 6 地域住民および関係者等からの苦情・要望等に対しては、速やかに監督職員に報告し、その指示に従うこと。
- 7 蓋高調整等が必要となる場合は、関係機関と調整が必要となることから、事前測量の時点で速やかに監督職員に報告を行うこと。
- 8 路面切削から表層舗設までを急速施工により実施するよう努めること。

(以上)

位置図



1 / 2500

：施工箇所